

「なら結婚応援アクションプラン」の概要について

1 プランの趣旨・期間

プラン策定の趣旨

県では、少子化を改善するため、平成27年3月に策定した「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」(期間平成27年度～31年度。以下「計画」という。)に基づき、結婚をみんなで支える社会づくり、結婚の希望の実現に向けた施策を展開。

一方で、県の合計特殊出生率(平成28年)は1.36で10年前と比較して改善してきているが、全国第41位と低位な状況。また、少子化の大きな要因とされる未婚率の上昇も続いている状況。

こうした状況の改善を図り、「計画」において目指している「結婚応援の気運醸成」「地域における結婚支援活動の推進」を実現するため、**県が実施・支援する取り組み(平成29年度～31年度)を具体的に定める「なら結婚応援アクションプラン」を策定。**

プランの期間

■平成29年度から平成31年度まで 【策定期間】平成29年9月

2 結婚応援施策の基本的な考え方

県が様々な主体の「コーディネーター」として、「結婚応援の気運醸成」及び「地域における結婚支援活動の推進」を図ります。

奈良県と全国の結婚に関する状況

- ・奈良県の若者世代の未婚率(25歳～39歳)＝全国的にみて、高い水準
- ・奈良県の平均初婚年齢＝全国的にみて、高い水準
- ・「いずれ結婚するつもり」の方は、依然として多く存在(但し、奈良県は全国より少ない状態にある)。
- ・「独身でいる理由」は「適当な相手にめぐり合わない」が多い。
「結婚の障害になる具体的な内容」は「結婚資金」や「職業や仕事上の問題」が多い。

これまでの結婚応援に関する取り組み

・県内においては、様々な主体(県、市町村、経済・労働関係団体等)による出会いの場の提供や結婚を応援する人材の養成などが行われており、**地域で結婚を応援する気運が盛り上がってきている。**

施策の3本柱

結婚を応援する**主体**をつなぐ
「結婚応援ネットワーク」
づくり

結婚を応援する**機会**を増やす
「結婚応援フィールド」
づくり

結婚を応援する**人**を増やす
「結婚応援マインド」
づくり

3 具体的なアクション

I 「結婚応援ネットワーク」づくり

- ・「奈良県・市町村結婚応援連絡会議」の運営
- ・「奈良県・民間団体等結婚応援ネットワーク会議」の運営
- ・県と大学との連携体制の構築

II 「結婚応援フィールド」づくり

- ・共同イベントの実施(県、市町村、民間団体等)
期間を定めての婚活イベント集中実施(Nara婚など)
時期に応じたテーマ(家族の週間など)を設定してのイベント実施
- ・県主催イベントの実施(「なら結婚応援団」等と連携)
行政や民間団体の結婚応援の取り組みを広く発信(婚活カフェなど)
- ・「なら結婚応援団」を核とした結婚応援の取り組みの充実
市町村や企業・民間団体等と「なら結婚応援団」による婚活コラボイベントのコーディネート
- ・幅広い情報発信
LINEやメルマガ、フェイスブック等SNSを活用した婚活情報の発信強化

III 「結婚応援マインド」づくり

- ・企業や団体等と連携した取り組み
企業や団体等の取り組みを促す「結婚応援セミナー」の開催や個別訪問による普及啓発等
- ・地域における結婚応援人材の養成
ボランティア活動を実施している方等へのセミナーや「なら結婚応援団」の活動事例紹介等

4 目標指標

指標種別	項目	目標値(平成31年度末)
成果指標※ (アウトカム)	いずれは結婚しようとする未婚者の割合 (18歳～34歳)	90%以上 (H25年72.5%)
	結婚の希望実現率 若者(18～34歳)の結婚の希望と5年後(23～39歳)の結婚の実績を対比	80% (H25年76.8%)
行動指標 (アウトプット)	県と県内様々な主体との共同イベント実施数	8回
	結婚や家族について知るセミナー等の開催数	10回
	なら結婚応援団新規登録団員数	20団体

※「奈良こどもすくすく・子育ていきいきプラン」目標指標

【参考】プラン全体の構成

- 1 プラン策定の趣旨
- 2 奈良県と全国の結婚に関する状況
- 3 これまでの結婚応援に関する取り組み
- 4 結婚応援施策の基本的な考え方
- 5 具体的なアクション(「結婚応援ネットワーク」づくり、「結婚応援フィールド」づくり、「結婚応援マインド」づくり)
- 6 目標指標